

# 生樹柱 ～ibuki-bashira～



## 命名手法

生きている木を柱として利用するので生樹柱



利用イメージ

## デザインコンセプト

公園・寺社などの片隅に、生きている樹木（生樹）を柱とした休憩所を提案する。休憩所は、お堂をモチーフに造り、屋根を貫く生樹を中心に置く。室内でも自然を感じることができ、夏場は樹木の枝・葉で日射を抑えることで涼しい環境を維持できる。

この生樹の最大の役割は、地震時に柱として休憩所全体の揺れを緩和する効果を持つことである。生樹は、床と屋根を貫くが、床・屋根ともに生樹の生長に対応できるように、大きめの穴を開けている。その隙間にゴム緩衝材を入れ、地震時に生樹とゴム緩衝材が接することで休憩所の揺れを抑え、地震動への抵抗力として働く。

「生樹柱」は、普段は自然美あふれる「和」としての空間演出の役割を持ち、災害時にはそのパワーを活かした制震柱としての役割を果たす。